

平成28年 第9回

小林市教育委員会

定例会

会 議 録

平成28年8月25日（木）

平成28年 第9回教育委員会定例会 会議録

- 1 日時 平成28年8月25日(木) 午後3時00分～
- 2 場所 小林中央公民館 2階 集会室
- 3 出席委員 槇健一郎 大部菌智子 山中悦郎 大角安子 中屋敷史生
- 4 参与職員 山下康代 上別府優 深田利広 大山和彦
(調整職員) 野口健史

5 議事

(報告)

- 報告第10号 小林市国際交流員の採用について
- 報告第11号 全国学力・学習状況調査の結果について

(議案)

- 議案第59号 小林市外国語指導業務委託に係る公募型プロポーザル選定委員会設置要綱の制定について
- 議案第60号 小林市文化財保存調査委員の委嘱について
- 議案第61号 市議会定例会(9月議会)の議決を経るべき議案の原案の承認について

6 会議内容

開会 15:00

榎委員長 それではただいまより、平成28年8月17日付 小林市教育委員会告示第18号で招集されました、平成28年度第9回小林市教育委員会定例会を開催したいと思います。よろしく願いいたします。

榎委員長 議事に入りたいと思います。

まず、報告第10号小林市国際交流員の採用について、お願いいたします。どうぞ。

上別府課長 シヤネットさんの後任が8月1日付で赴任しました、メロンさんです。日本語は堪能ですので、自己紹介をしていただきます。

リザ・メロン こんにちは。私はリザ・メロンと申します。フランスから参りました。日本語は6年間ぐらいフランスの大学で勉強して、そして1年間名古屋に

留学しました。その時に日本の不思議なところを知って、もう一度戻りたくなりました。それで小林に着きました。本当にうれしいです。日本語はまだまだ思うように話せませんが、これから頑張っていきたいと思っています。よろしく願いいたします。(拍手)

野口 資料にプロフィールを載せてあります。

ちなみに、シャネットさんはご存じのとおり、今度は市長部局で国際化に向けたコーディネーターに着任しております。

今年度の予算要求をするときに、昨年お話ししたと思うんですけども、国際交流員とALTとこういったコーディネーターとトータルで、小林の国際化というかグローバル化につなげていきたいというような構想も持っていますので、そういうつながりになっていけばいいなと思っているところです。

槇委員長 よろしいですか。(はい)

槇委員長 続きまして、報告第11号全国学力・学習状況調査の結果について、お願いいたします。

大山指導監 それでは、失礼いたします。

資料につきましては、別綴じになっております。一番上に、平成28年度全国学力・学習状況調査における本市の状況という資料をご覧くださいと思います。

今年の4月19日火曜日に行われました全国学力・学習状況調査における本市の状況についてご説明をいたします。

本市では、小学校6年生が395名、中学3年生392名の児童・生徒が調査に参加をしております。調査は小学校、国語、算数と、中学校の国語、数学について実施をされています。問題の内容につきましては、主に基礎的、基本的な知識を見るA問題と、主に学んだことを日常生活等で生かす力——いわゆる活用する力とありますが——を見るB問題とに分けて、調査が行われております。

資料1 ページ目に、今回の調査の結果について平均の正答率を示しております。正答率については、各教科の問題数に対して正答数を割合で示して

いるものでありまして、単位はパーセントで示しております。

それでは、この平均正答率を使って本市の状況を説明いたします。

小学校6年生は、国語Aについては、昨年度に引き続き全国平均をやや上回っています。その他については、やや全国平均を下回っていますが、算数については、年々その差が縮まっています。全国平均と比較した場合、国語Bの活用する力にやや課題が見られました。

中学校3年生については、全ての教科において全国平均をやや下回っています。この学年の小学6年生時の調査結果と比較すると、国語については、全国平均との差が縮まっています。

全国平均と比較した場合、B問題の活用する力に課題が見られました。

以上、小・中学校の推移をごらんいただきましたけれども、小学校は前年度とほぼ同程度の傾向、中学校については前年度と比べると下降しております。今後は本調査の分析を十分に行いまして、これまで以上に一人一人の子供が確かな学力を身につけるよう、努力をしまいたいというふうに思います。

最後に、この調査結果の公表についてご報告させていただきます。

昨年度、定例教育委員会において、調査結果の公表における協議をさせていただきました。本年度の結果の概要については、ご覧いただいている内容で市のホームページで掲載をしたいと考えております。数値等については公表せずに、文章表現で傾向をお示ししたいと思います。よろしくお願いいたします。

なお、本日配付した資料につきましてですが、実は本日が文科省の全国に公表する予定日でありましたけれども、集計の都合上、延期となりました。以上でございます。

槇委員長 ありがとうございます。

中屋敷教育長 補足、よろしいでしょうか。

槇委員長 はい。

中屋敷教育長 これから詳細な分析に入っていくんですけども、送られてきた資料を見たときに、二極化とよく言いますけれども、正規分布にならずにM字になるというものです。できている子とできていない子の山があるという話で

す。ですから、今回の特徴は上位層もいるんですけども、下位層にも結構いるという傾向があるなというのは見てとれます。しかし、それをやっぱり伸ばしていかなきゃいけないという義務教育の責任がありますので、学校と一緒に、また中3は特にこれから入試に入っていきますので、それに向けて学力が上がるように努めていきたいと思えます。以上です。

楨委員長 ありがとうございました。
 ご質問ないですか。

大部菌職務代理 いいですか。

楨委員長 どうぞ。

大部菌職務代理 ICTの予算が伸びてきて、学力が今回どうかなというので、ちょっと注目していました。今回の結果を元に分析して、資料にさせていただきたいと思えます。

中屋敷教育長 おっしゃるように、小林市は、教育にはかなり力を入れておりますので、伸ばしていきたいと思っております。分析をしっかりやっていきたいと思えます。

楨委員長 ありがとうございます。

楨委員長 それでは、議案に入っていきます。
まず、議案第58号小林市外国語指導業務委託に係る公募型プロポーザル選定委員会設置要綱の制定について、お願いいたします。
どうぞ。

山下部長 それでは、公募型プロポーザル選定委員会設置要綱の制定について、教育委員会の承認を求めるものでございます。

この要綱の制定をする理由を申します。1点目が、現在インタラックというところと契約をして業務をしております。これは平成21年にプロポーザルを実施いたしまして、インタラックさんと契約をしているんですけども、その後、随意契約として、公募をせずに、インタラックさんと今まで契約をしてきているという状況があります。

もう一つが、平成32年度から次期学習指導要領の全面実施に伴いまして、小学校5、6年生で英語が教科化されます。それから、小学校3、4年生

で外国語活動が導入されます。そのため、今年度から外国語指導助手——A L Tにつまましては、小林市では2名を3名、1名を増やしまして、外国語指導とか国際理解についての教育研究を行っているところなんですけれども、今後さらにA L Tの配置人数、それから業務委託内容を充実させるために公募をいたしまして、プロポーザルを行って、受託候補者を選定していきたいなというふうに考えております。

今把握している段階では、九州内では3業者ぐらいあるようでございますので、計画といたしましては10月に募集を開始いたしまして、12月に企画提案をしていただき、選定委員会を実施いたしまして、年内には受託業者の候補者を決定したいなというふうに思っております。それに伴う選定委員会の設置要綱ということで、今回提出をさせていただきました。

以上です。

槇委員長 何かご質問ないでしょうか。

大部 菌職務代理 すみません。選定基準というのはもう出たわけですか。

山下部長 選定基準は、今から公募をする段階ですが、これから検討して定めてまいりたいと考えています。

槇委員長 ご質問ないでしょうか。

選定委員会を設置して、それから詰めていくわけですね。

山下部長 はい。

槇委員長 ご質問ないでしょうか。(なし)

ないようでしたら、ご承認いただいてよろしいでしょうか。(はい)
ありがとうございます。

槇委員長 では、続きまして、議案第60号小林市文化財保存調査委員の委嘱について、お願いいたします。

どうぞ。

上別府課長 お手元の資料をご覧いただきたいと思います。

小林市文化財保存調査委員会の委員の委嘱でございます。8月いっぱい2年の任期が到来する委員がいます。

したがいまして、9月1日から2年間、文化財保護条例の中で10名以内

と定数が定められておりますけれども、今回4名の方が委員を辞められるものですから、その中で新たに3名の方を新任ということで委嘱したいと思っております。7、8、9の番号の方が新しく委嘱する方なんですけれども、まず1人目は7番 西小林の方です。所属団体としてはエヒメアヤマを守り育てる会、それから県の植物研究会に所属されている植物の専門の方でございます。それから、2人目の8番の方は3月まで小学校の校長先生をされていた方でございます。それから、3人目の9番の方、野尻地区三ヶ野山の方ですけれども、この方は郷土史家でございます。旧野尻町時代に文化財保護審議会の委員を1期された経験があるということでございます。4人目の方をお願いしておりましたけれども、なかなかご返事をいただけなくて、今回は残念ながら見送るということになります。

地域バランスということもありますので、できましたら、須木の方で1名、今後探していきたいなと思っております。

以上です。

槇委員長

ありがとうございます。

何かご質問ないでしょうか。(なし)

それでは、ご承認いただけますでしょうか。(はい)

ありがとうございます。

槇委員長

続きまして、議案第61号市議会定例会の議決を経るべき議案の原案の承認について、お願いいたします。

どうぞ。

上別府課長

お手元の資料をご覧いただきたいと思います。

左側に文化財保存活用事業(臨時)というふうにあります。補正予算額は90万円でございます。右側に補正の理由があります。

市指定文化財かくれ念仏洞への通路は、途中で川を横断する場所がありますが、川が増水すると浸水し通行できない状況であったことから、当初予算に通路を高くする工事費を計上し、5月末より着工していたところでした。しかし、6月の豪雨で、もうすぐ、かくれ念仏洞に着くというところから二、三十メートル付近の崖が崩れまして、通れない状態になりました。

その上に個人の家がありまして、田んぼがあります。その田んぼには排水路がなくて、岩肌の上に乗っている土と木と一緒に崩れてきまして、杉の木が十数本、一緒に落ちてきております。

今回の工事にも支障がある状態になっており、通行にも支障があるということで、90万円をかけて工事をするものでございます。

以上です。

楨委員長 ありがとうございます。

続きまして、お願いいたします。

深田課長 今回2件の補正をお願いいたしております。

まず、1件目といたしまして、体育振興事業費で500万円、2件目で体育振興事業費の臨時といたしまして60万8,000円をお願いしているところでございます。

まず、体育振興事業費でございます。ここの部分につきましては、かねてからの念願でありましたマラソン大会の実施に向けた事業費を今回計上したところでございます。マラソン大会につきましては、来年の3月5日、日曜日の開催に向けて、現在鋭意準備を行っている状況でございます。

今回は、運営費補助ということで500万円を計上いたしまして、実行委員会のほうに補助を行う予定であります。

次に、体育振興事業費の臨時になります。こちらは、毎年優秀な成績をおさめている市町村対抗駅伝競走大会において、開閉会式で小林市の選手団が登壇する場面で、統一したユニホームではなく、各々自前の服装で開閉会式に臨んでいる状況がございました。それを受けて、小林市として一体感に欠けていると、市民からご指摘を受けている状況でございました。

そこで、今回統一したロングコート調達し、大会に参加していきたいということから、そのための予算を計上したところでございます。45着分を購入予定でございまして、購入に当たっては市の体育協会のほうに補助金を出して、体育協会で購入するという予定でおります。

スポーツ振興課は以上でございます。よろしく申し上げます。

楨委員長 今回の件につきまして、何かご質問ないでしょうか。(なし)

ご承認いただけますでしょうか。(はい)

ありがとうございます。それでは、よろしく願いしておきます。

楨委員長

ほかにないですか。(なし)

なければ、定例教育委員会を終わりたいと思います。どうもご苦労さまでした。

閉会 17:01

委員長

委員長職務代理者

委員

委員

教育長

調整職員
